

どきどきかて…ほし

04

40代無職／死亡事故

私

は、ドライバーとして、やってはいけない交通事故を起こしてしまいました。赤信号を無視して人をはね、死亡させてしまいました。原因は、私の前方不注意による交通事故です。助手席にある物に気を取られてしまい、前を見ずに気がついたときには、信号機が真上を通り抜けており、交差点の中でした。

赤信号には気付いたのですが、ブレーキを踏むタイミングが遅かったことで、右方向によけることしかできず、相手も同じ方向に渡っていた為、車の正面で衝突してしまったのです。

私はぶつかった後、車を降りてすぐに救護に向かいました。相手は、頭から血を流し、とても苦しそうでした。「どうか生きていて欲しい。」そう思いながらも頭が真っ白でしたが、逃げるという選択肢は私にはありませんでした。

「人が苦しんでいる。人を傷つけてしまった。」そういう状況なら、逃げずに自分に向き合い救護すること、相手に生きていて欲しいという思いを優先するべきだと本気で思いました。

事故後の処理を怠ると、今後の人生は、思っている以上に悲惨なものになってしまう。同じような交通事故でニュースになって流れているのを、思い出したのです。自分の名前、地元、仕事など全てが分かかってしまい、今の生活ができなくなってしまう。

でも、逃げずにこの交通事故に向き合えたからこそ、今、地元で生活していただけるのだらうと思います。

「世間は思っている以上に冷たい」

と言われてきましたが、人の考えはそれぞれです。厳しい声や励ましの声もたくさんありました。しかし、当時の自分は温かい人の声も聞かず、「この苦しみは自分にしか分からない、みんなに何が分かる」と思った、とても小さな人間でした。

私は、この事故の罪を償うために刑務所に入り時間を掛けて

「もっと人を信頼しよう、もっと頼って良いのだ」

と思えるようになり、少し気分が晴れたのです。運転とは何か、被害者の思いなど学び、もう二度とこのような交通事故を起こさないようにと改めました。

刑務所での経験を役に立たせるよう、これからの人生を頑張って生きたい、被害者遺族のため、許されることはないと思いますが、少しでも認めてもらえるような人間になっていきたいと思います。